

都市再生整備計画（第1回変更）

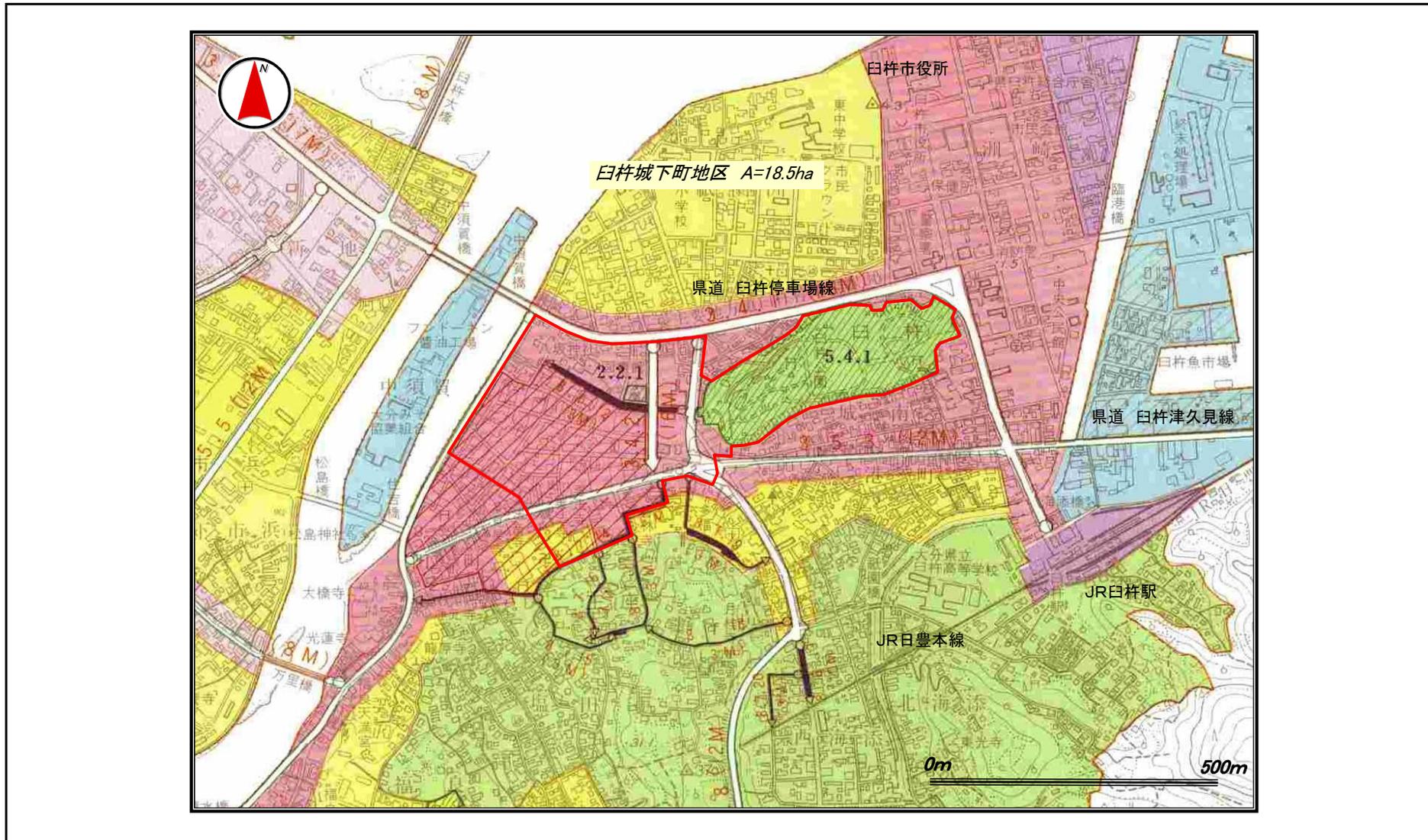
うすきじょうかまちちく
臼杵城下町地区

おおいたけん うすきし
大分県 臼杵市

平成24年7月

都市再生整備計画の区域

臼杵城下町地区(大分県臼杵市)	面積	18.5 ha	区域	臼杵市 大字 臼杵、二王座のそれぞれ一部
-----------------	----	---------	----	----------------------



都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	うすきし 臼杵市	地区名	うすきじょうかまちちく 臼杵城下町地区	面積	18.5 ha					
計画期間	平成	21	年度	～	平成	25	年度					
					交付期間	平成	21	年度	～	平成	25	年度

目標

- 大目標: 中心市街地を臼杵の歴史特性を活かしながら、市民意向に配慮した景観整備を行うことにより、人・モノが活発に交流するまちの賑わいを復活させる。
- 目標1: 「臼杵城跡」と並ぶ城下町のシンボルである「稲葉家下屋敷」を補修・改修し、これまで観光を対象とした利用のみであったものを一般市民も利用できるような運用方法を確立し、市民も気軽に臼杵の文化・歴史に触れ合える環境を整備する。
- 目標2: 地域特性にふさわしい景観環境のなかで来訪者が安心して円滑にまちなみの散策が楽しめる環境を整備する。
- 目標3: 市民・観光客が交流し、そのことにより中心市街地に人が集い賑わいが創出される環境を整備する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

旧臼杵城下町地区は、戦国末期の大友氏城下町を母体とした近世城下町の範囲である。旧城下町域は戦火を免れ、近代以降に大きな改変を受けておらず、近世期のまま位置と幅員を変えずに残る街路や、当時のままの町割り、そのよすがを伝える多くの伝統的建造物が今も残されている。

臼杵市ではこうした歴史的遺産を保全しながらも住みやすく、賑わいのあるまちづくりを目指し、昭和62年の「臼杵市歴史環境保全条例」の制定による歴史環境保全地域の設定と修景助成を嚆矢として、平成4～5年度に「二王座歴史の道整備事業」、平成10年度からは「街なみ環境整備事業」、そして平成14年度からの「身近なまちづくり支援街路事業」により道路の石畳美装化を行ない、建屋と街路が一体となった修景整備を目指し、落ち着いたたたずまいの形成に努めてきた。また、戦国末期から現在まで中心商店街の性格を保っている本町通りの商店街については、平成12～16年度の期間で城下町にふさわしい景観の統一と地区特性を活かした商業活動を支援する「商業地域景観形成事業」に取り組んでいる。

平成16年度からまちづくり交付金事業を活用し、さらなる歴史的資源の一体化と連続性を目指し事業に取り組んできた。1期計画のなかではこれまで商業施設のビルにより城下町地区と隔離されていた臼杵城跡を城下町地区と一体化させることを重点目標として整備を進めてきた。広場や道路美装化等の整備、また隣接する都市計画道路事業による周辺家屋の立ち退きとあいまってそれらを活かしたイベントの拡大や増加等、効果は大きかったと言える。しかしながら整備においてはまだその完成度は低く、これからも引き続き事業を行っていく必要がある。現在はそれらと合わせ、観光面、文化面における交流拠点を望む声が多く聞こえるようになった。

課題

臼杵城跡と稲葉家下屋敷、さらには臼杵城下町地区の間の地域については、中心市街地の活性化計画と整合性をはかりながらの修景整備が必要である。この地域に存在する歴史景観を阻害する建築物等の増加を防ぐ規制措置を都市計画法の手段だけではかると同時に、総合計画等の中で優先課題とした上で、土地の公有化を進め、これを観光客のみならず市民にも開放できる修景施設としての事業展開をはかり臼杵城跡と稲葉家下屋敷、城下町地区のより一層の連続性の強化を目指す必要性がある。

将来ビジョン(中長期)

豊かな自然、歴史、文化に恵まれた臼杵市ではこれまでもさまざまな景観形成関連事業が実施されているが、今後も引き続き整備を推進していくものとしている。「臼杵市総合計画」においては活力ある商工業、観光づくりを支援するとし、また文化を守る、活かす、伝えるとして景観整備を推奨している。そのなかで臼杵の町なみの特徴である入り組んだ町割りが、市外からの来訪者にとってはたいへんわかりづらいものとなっており、その結果中心市街地の賑わいに支障をきたしている。アンケート調査やワーキンググループの結果においてもそのことは如実に表されており、「臼杵市中心市街地活性化基本計画(案)」において、歴史的資源を活かした整備を進めつつ、わかりやすくまちなかに入ってもらえるような市民・観光客の利便性・安全性向上にむけた事業展開を図るとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
臼杵のまちなみ来訪者数	人/年	「観光動態調査」によるまちなみ来訪者数	歴史的景観整備によりまちの賑わいに寄与できたかを測る	80,687	19	25
市営(下屋敷前)駐車場の利用台数	台/年	駐車場の利用台数	まちなかに訪れた方の状況を公共施設において測る	17,157	19	25
中央通り商店街通行量	人/日	通行量調査による商店街通行者数	歴史的景観の整備が中心市街地の活性化に寄与できたかを測る	1,663	20	25

都市再生整備計画の整備方針等

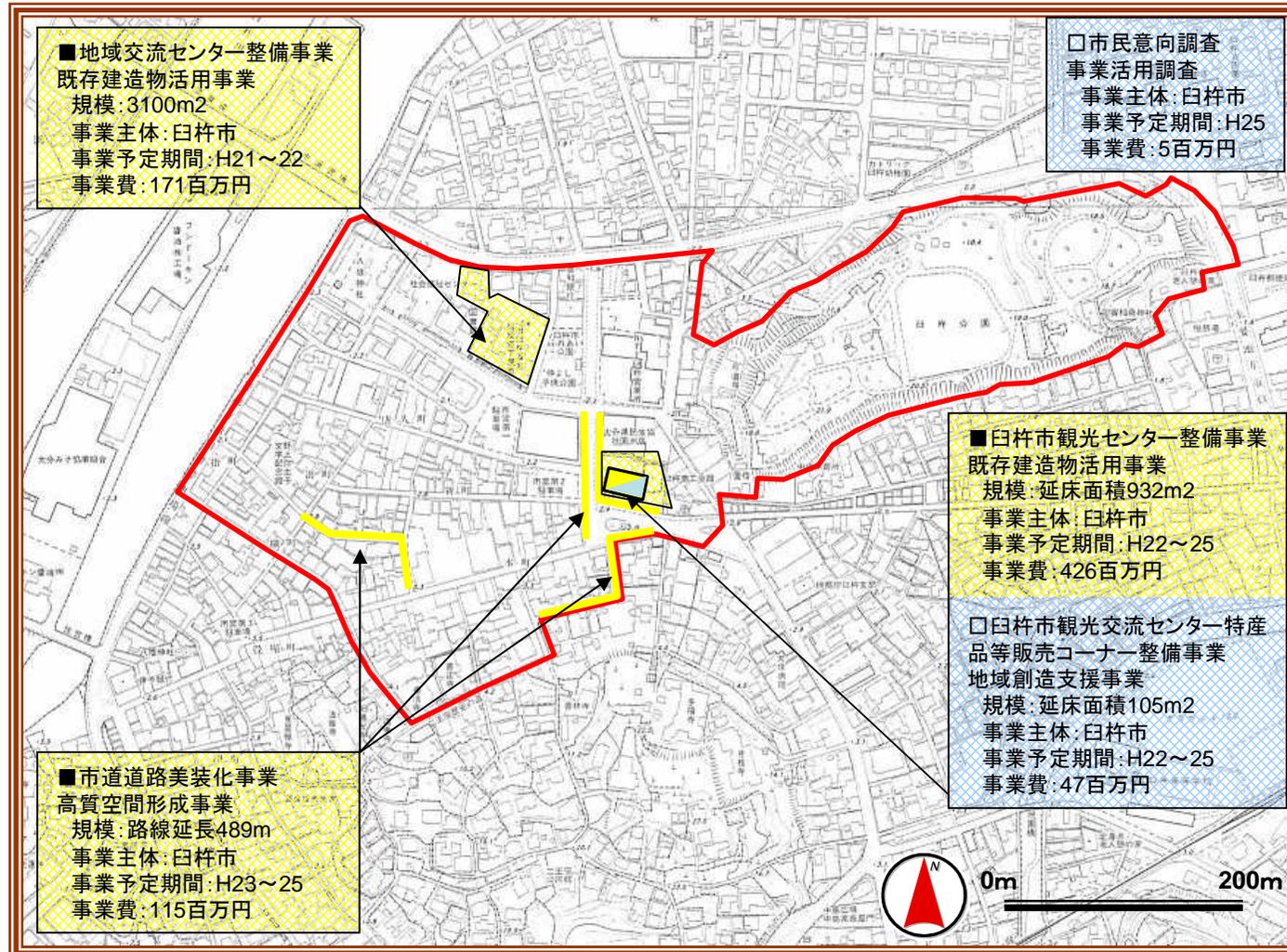
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針1(臼杵城跡と城下町地区の一体化を図る施設整備) ・臼杵城跡と城下町のさらなる一体化を図るため中心となる拠点施設整備のための土地・建物を市有化し、観光拠点、市民の交流拠点としての整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道道路美化事業 ・臼杵市観光交流センター整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針2(臼杵の歴史に気軽にふれあえ、より分かりやすく、興味を持ってもらえる施設整備) ・まちなみ散策をする上で、臼杵の歴史や町並みをより分かりやすく、興味を持ってもらうための案内、紹介のできる施設整備を行う。 ・これまで観光客のみを対象として活用していた施設を、市民も日常の交流活動に使用できるように施設改修、利用システムの構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター整備事業 ・臼杵市観光交流センター整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針3(各観光施設、交流拠点の連動性を図る施設整備) ・地区内に点在する観光スポット、交流拠点の一体化を目指し、連動性を強化するための施設整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道道路美化事業 ・臼杵市観光交流センター整備事業

その他

- ・事業成果の評価について
交付金事業期間中に、指標における従前値の算出を行ったのと同様に目標値を求めその達成状況をチェックしていくが、最終年度において総括的な事業活用調査を行い、最終的な成果達成の指標としたい。

臼杵城下町地区(大分県 臼杵市) 整備方針概要図

目標	臼杵の歴史特性を活かした景観整備により、人・モノが活発に交流するまちの ぎわいを復活させる。	代表的な 指標	臼杵のまちなみ来訪者数 (人/年)	80,687 (H19年)	→	100,000 (H25年)
			市営(下屋敷前)駐車場の利用台数 (台/年)	17,157 (H19年度)	→	20,100 (H25年度)
			中央通り商店街通行者数 (人/日)	1,663 (H20年度)	→	1,800 (H25年度)



■地域交流センター整備事業
既存建造物活用事業
規模:3100m²
事業主体:臼杵市
事業予定期間:H21~22
事業費:171百万円

□市民意向調査
事業活用調査
事業主体:臼杵市
事業予定期間:H25
事業費:5百万円

■臼杵市観光センター整備事業
既存建造物活用事業
規模:延床面積932m²
事業主体:臼杵市
事業予定期間:H22~25
事業費:426百万円

□臼杵市観光交流センター特産
品等販売コーナー整備事業
地域創造支援事業
規模:延床面積105m²
事業主体:臼杵市
事業予定期間:H22~25
事業費:47百万円

■市道道路美化事業
高質空間形成事業
規模:路線延長489m
事業主体:臼杵市
事業予定期間:H23~25
事業費:115百万円

凡 例

- 都市再生整備
計画区域
- 基幹事業
- 提案事業

